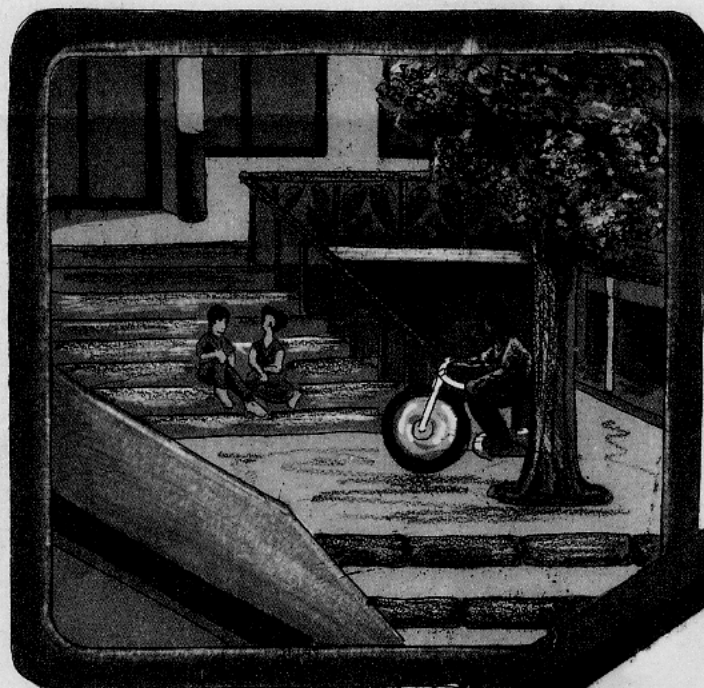


木野会報

Vol.

4



- 特集●座談会 教育の現場…①
木野会数珠つなぎ…⑥
CAMPUS REPORT…⑦
TEACHERS VOICE…⑨
This is my space…⑫
Who's who 西日本支部同窓会…⑬
INFORMATION…⑮

過保護「そっちへいっちゃダメ!!」

マンガ専攻
藤井陽子

特集 [座談会]



教育の現場

戦後民主主義教育の問題点が叫ばれる

昨今、学校関連の悲惨な事件が報道さ

れるのもしばしば。親となった年代の

卒業生の皆さんには不信や不安を覚え

ている人もいるのではないだろうか。

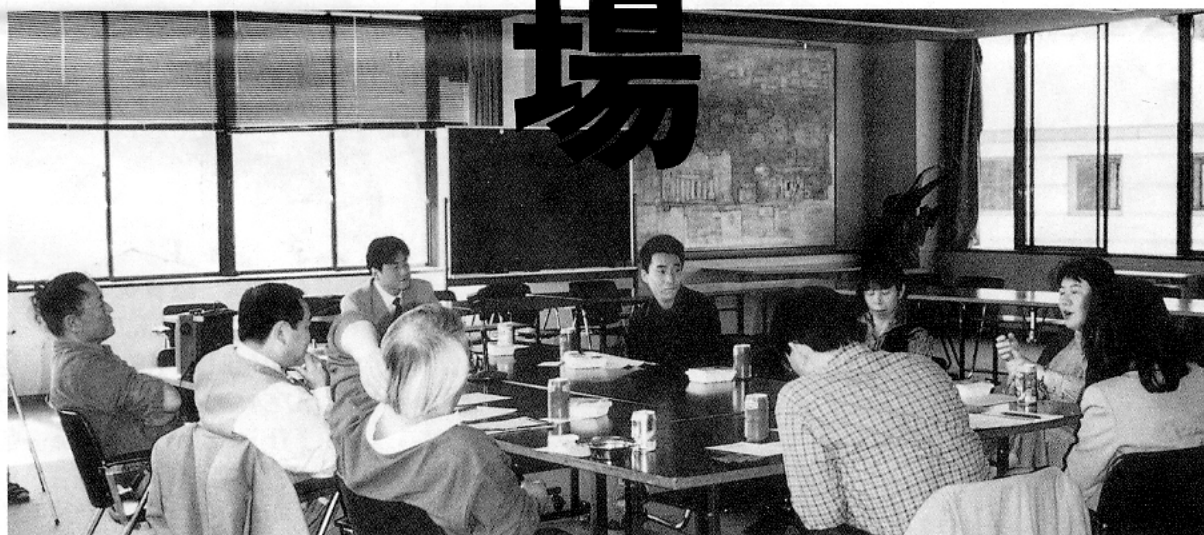
精華の教育のなかに、この現状に何か

対処できるものはないでしょうか。そ

こで今回は教育の現場に携わる卒業生

と大学の教職員の方々を交えて、教育

について話し合っていたいただきました。



司会 ● 学校の場合にいろいろと自級が絶えず、体罰や殺傷事件も数多く引き起こされ戦後民主主義の華みが間違ってされております。偏差値至上主義で基本的な人間性を欠いた教育に、オウム真理教などの犯罪の因がいろいろと指摘もされていまして、そして現在の教育の問題点を、京都精華大学の「自由国」の理念を踏まえたうえで話し合いたいと思います。まず最初に出席者の皆さんに、自分の学生時代を受けた教育と、現在の若い世代や自分の子供たちが受けている教育を対比していただきたいと思ひます。教職に就かれている方は現場の経験も加味してお話しください。また、卒業生の方に関しては、精華の教育を思っている方も含めて発言してください。

島田 ● 人文学部八九年入学の島田です。卒業後は民間に半年ほど勤めておりましたが、精華で取得した英語の教科を生かして中学で非常勤講師を五年ほど致しました。現任は精華大学の事務局でアルバイトをさせていたのですが、現場の経験といつても僅かですが、その時感じたのは、私が中学校の頃はかなりの校内暴力とか盛んでして、毎日窓ガラスが割れたり、私服警官が来たりと、かなり悲惨な状況でした。当時「悪いことをしたら先生方に指導され、顔が膨れ多くらいまで殴られる」ともありましたが、実際の現場では、体罰がいけないでもあり、殴られても其儘は全くなく、学生の頃に体験した指導が強く残っているのかなりのギャップを感じました。

藤井 ● 六八年に絵画に入学した藤井です。二年しが精華にはいなかったんですが、これまで生きると中ですごくよかった時代やったといつか、人間らしく生きられた時やったと思ひ浮かべています。娘がいま精華の立派な四回生で、時折精華に顔を出して随分変わったな、大きくなったなと思ひて嬉しく眺めております。卒業して社会に出た後結婚して、フットボールに年月が過ぎ、子供が成人する年頃になって自分ら

しく生きていくためにいろいろ思ひます。精華に来る度に学生の様子とかを見てすごく驚かれています。梶川 ● 人文学部で英語と日本語を担当している梶川と申します。十数年前から専任教員としてお世話になっておりまして、個人的にはほぼ一週生の方と同じ年齢だと思ひます。大学二年、高校三年、一年の子供を抱え、現役の母親も兼ねているという状況が大きな理由でこの場に引張りだされたのかなを理解しています。どっちの立場で何を言ったらいいのかわかりませんが、学生を見ていてもなかなか母親の視点みたいなものが入ってしまっているのかもしれないと思ひ今日（この頃なので、そこへんまで皆さんと同じような意識が持てるかなと思っております）。

浜口 ● 七六年に短大英文科に入学した浜口です。現在は家の方でフランチャイズの英語塾の塾生をやっているんですが、その必要性もあってからまた勉強を始めまして、いま二生懸命学校に行ったり、勉強会をしています。小学校六年生の娘が一人おり、PTAの役員をさせてもらい、小学校の様子も母親として少しはわかるかなと思ひますが、お友達や私の塾の生徒に公立の中学の話を聞くと、中学生という思春期で不安定な時期の中で急に先輩、後輩の関係が始まったり、制服も規制はっかりの中で少しはみ出すと先生に叩かれたりするといふんですね。だから公立の中学校はいいたいというのがあるのかなという不安もあり、今日はその辺りから来られている方もいらっしゃるのでは、そういう話もお聞きできたらいいなと思ひます。

新谷 ● 七〇年に絵画に入学した新谷です。いま現在は中学校の現場から教職員組合の専任役員としていて、京都教職員組合の方におります。教育委員会の方や多くの教職員といろんな形で話す機会があり、いまの教育の置かれている現状や、その中で我々がそれと対置しながらいかにどうするかを考へ取り組んでいる

ので、いろいろな場のお話が多かったです。いろいろ思っています。我が家には高校三年生、中学三年生、小学六年生の子供がおり、ちょうど進学期に三人とも当たっています。そういう意味ではいろいろな面でのいまの教育の問題を家庭生活でも受けているものなので、親の立場からもお話をできたらいいな思っています。赤坂 ● 六八年の絵画（中学で同窓会の会長をさせていただいている赤坂です。同窓会としてこのような企画をさせてもらったのは、教育そのものの中身がどうあるべきかというテーマもあるのですが、私が考えているのは、企業が求めている人材というのは必ずしもスベチャリストといふべきではなく、集団の中でチームワークを作っていくかが非常に大きな要素だとなつてきており、プロフェッショナルな場面は専門家に任し、むしろ会社としては組織そのものをマネジメントロールするかにいふべきなところの要素が最近非常に求められていると感じます。思ひに、いままで受けてきた教育を省みて、精華の人間性そのものを重視してくれる教育がほしいと思ひます。で、いま子供たち

にどういふ教育の場を与えていくのかという問題や、中学校、高校、大学という経緯の中の教育のあり方の二通りがあると思ひますが、それがどうなかつていって、最終的には社会の参画するメンバーとしてどんな人達が育っていくのかという部分で精華大学はどういふ教育をするのか、あるいはしていいののかというお話をぜひにお聞きできたらいいと思ひます。

山田 ● 六九年度の絵画入学の山田です。いまは中学校の教師から教育委員会に入り人権というあたりの仕事をさせてもらっております。学校が批判的な形で見られていますが、教師も子供たちも一生懸命やっているのでお話をしたい知ってもらいたい、そういう視点の中で、物事を一緒に考えていきたいと思ひます。佐藤 ● 現任、国際交流課課長におります佐藤です。戦後

の日本の歴史で自分の人生がほぼ重なり、その中で日本の敗戦後、朝鮮戦争、高度成長経済、安保闘争など政治的に激しい時代から今日のバブル崩壊へとつながつてゆくわけです。最近の状況を見ますと、やれ官僚がどうであるとか、大蔵省がどうだとかということが現実問題としてあります。明治から計算すると一三〇年やってきた近代国家が壁に当たっており、それは日本だけの問題ではなく欧米についても同じような印象を受けます。個人的に言いますと、日本の新制教育の第一号になるわけです。一九四八年ですが、学校自体は非常に混乱しておりまして、戦前派といふのか非常に激しい先生がいる一方で、アメリカがあれといふのかハンサムで、かっこがよくて、英語ができてという先生がいたり、何を基準に教育をするかが学校の中にもなかったりです。その後、徐々に従来のようなものがない、生徒も、私の場合は愛知県なんです、尾張と三河という風が大き〜につに分かれて、従来の学区制でなくなつていき、学校自体も非常に格差が出ました。学校同士も、いまの偏差値のようになつていくなつていくなつて、競争が激化してゆくといふ経過の中で卒業したわけです。学生時代というのは非常にいいことを考えさせてね、日本を何とかしてどういふような気持ちが強かつたですね。ところが、日本が善悪、成熟するにしたがつてターゲットが良悪でなくなつて、ちょっと困つていくなつた。ところが率直に言っておりますね、そういう中で精華の問題も教育の問題を考えた時に、しんやといふところが困つたという気がしています。

教育とは人間を育てること

司会 ● 各人の興味深い話が聞けましたが、偏差値の問題が出てきたので少し考えたいと思ひます。世間では偏差値が諸悪の根源のようにいわれていますが、学力を計る目安としてむしろ公平な評価がしやすくて

いろいろあります。最近では態度や行動を個人の判断の基準にしていて、動きが見られます。山田さんの方からその辺りをお願いしたいと思います。

山田 ● 偏差値教育というのは、非常に範囲が広いと思うんですね。個人の内面的なものを評価していくということでは、よりの子供の個性を見ていく、教師であるならばそれを支援していくような観点でも構いません。へんは捨てた方がいいですね。

司会 ● 態度や行動が個人の判断の基準となることで、おいて要領のいい子供が得をするということではいいのですか。

山田 ● 要領がいいとか悪いとか、そんなものを全部含めて各々の人間性だと思っただけです。だから誰に要領がいいのか、先生に要領がいいのか、自分に要領がいいのか、友達に要領がいいのか、保護者に対してなのか、地域の人に対してなのかそれぞれ違ってくるかと思っただけです。指導する立場の教師であるならば、できるだけ見えないものはならないでしょう。教師に対して要領がいいという捉え方だと、子供の個性は違ってくるので、教師に対して興味を言う子供やからその子は駄目やということでは教師の器としてもおかしいわけです。もう詰め込み教育とか、偏差値教育とか、管理教育を言っている段階ではないと思っただけです。文部省自身も否定していますから。

浜口 ● 偏差値教育というのは、テストの成績だけを総合し、その子の科目を偏差値として表して入試の時に取らなければいけないことなんでしょうか。私は普通科で生まれて育ちました。兵庫方式というのは、高校入試の一番勝負しなくて内申書でかなり調整されている、試験を受ける前に決まってしまう決まっています。自分たちも勝手に決まっています。その場合、さきさき言われたような非常の学習態度とか、ポテンシャルに参加しているとか、クラブ活動しているとかが台番の基準に入らなければならない

開催日
●
5月12日
会場
●
京都精華大学

出席者

● 梶川よ志子

(人文学部助教授、英語・日本語)

● 佐藤正幸

(事務局国際交流課)

● 赤坂博

(68年度美術科絵画入学、木野会会長)

● 藤井智香

(66年度美術科絵画入学、元中学校講師、旧姓奥野)

● 山田隆

(69年度美術科絵画入学、奈良川市教育委員会職員)

● 新谷一男

(70年度美術科絵画入学、京都教職員組合職員)

● 浜口宵代

(76年度英語英文科入学、英会話塾講師、旧姓上杉)

● 島田諭

(69年度人文学部入学、元中学校非常勤講師)

● 司会

● 宮城明和

(77年度英語英文科入学、木野会理事)



梶川よ志子



佐藤正幸



赤坂博

なと思っただけです。いま、他の県をやっている偏差値による入試の台番というのは、さきさきとは全然、配慮に入れない、入試のテストだけで左右されるわけなんですか。

山田 ● 内申書というのは通知表の点数です。それはパーセントで決まっています。一〇段階を分けてある。それととも個人表、この子は、明朗快活で、クラスでも常に意見をいうてくれる。と評しますが、反対に捉えたら、明朗快活というのは、喋り過ぎであるとか裏腹のものです。けれども子供たちのよい面を全部書いた上で出しています。それと当日のテストと手々という形で捉えなくていいわけです。偏差値教育とは入試に関する捉え方の、いわゆるこの学校だったからこれくらいに入れますよというもので、これくらいの点数だったら難しいとか、いじやとかで判断する。偏差値は教育の中に流れている大きな柱じゃないわけです。本来的に教育というのは、やっぱり子供を

育てる問題です。

人間味あふれる教育を求めて

新谷 ● 学校教育は何を求めるところかが問われていると思っただけです。よい大学に入るためには、このくらいの点数でなければいけないという偏差値偏重のいまの教育のあり方は点数によって人間が評価されている。今年大学を受験する僕の娘なんていうたら、四月に入ると受験産業から連日連夜、電話や資料を渡さなければならぬ進学資料が送られてきて、一覽表を見たら関西圏の大学、短大全部が紹介されていて、偏差値が全部書いてあるわけ。エエッ、精華大学ってこのくらいの位置にいるんかとかね、僕らがこの大学に来た時に、人間性豊かな自由な気風の中で自分自身が本当に人間として大きくなった二年間だったけど、精華

大学の偏差値と大学を何を僕らが学んだかとか、自分の人生の生き方の中で何を獲得していったのかという

ことで別の問題だと思っただけです。人間の価値というのは偏差値ではないことを僕らはここで学んだと思っし、山田さんも僕も現場の中で子供たちと接する時、美術という教科やから余計に子供の単なる学力がどうのこうのではなく、絵を描いたり工作をしたりする中で子供が目を見えキキキ輝かせて頑張っている姿に触れることで教師としての喜びも感じてきたし、子供もそういう良きをもっと生かしてあげたいという思いをやってきたと思っただけです。だからその中で受験戦争の中に子供たちが置かれている現実のギャップや矛盾に現場の先生も苦しんでいるし、親もそこに自分の子供をどう託していきたいのか、未来を見たい時に悩んでいる。一番犠牲になっているのは子供やと思うけど、聞くとしたんさき、いま、教育をひきいてるし、佐藤さんが言わはったように戦後五〇年の総括を始めて、文部省も企業も学校に勤めている現場の教師も含めて、教育の問題についていろんな人が自由にランクに話をし、こういう教育で未来の主権者であり日本を支えていく人間を作っていくやないかということをはるんな立場を乗り越えて議論していくことが大事な時期やないかな。

佐藤 ● 戦後の日本の教育を考えた時に、一つは反共産主義。文部省なんかの政策もイデオロギーが前面に出て、日の丸を先頭にしてこうやりなさいという学校対策が強かったわけです。もう一つは高度経済成長以降、企業の求める人材というのが学校の成績がいいとか、有名大学、一流大学というところに目を付けようというところ来たんじゃないかな。そういう両方の側面が学校の現場でいって管理主義や偏差値主義なんです。例えば欧米に見られるような学校教育に対する側面的な援助と政策を考える組織ならいいが、具体的な教育内容や学校の問題に文部省が大学までも口を出す。それを委ねていかないと、いろんな問題は根本的に変化しない気がする。そういう中で、精華大学の教育、

て何やとどう位許けりも初めを観的にできるのでは
ないだろうか。

藤井 ●女の面から見てもね、母親として二人の子
供を育ててきて一番大事なのは愛情やと思うんです。
私が精華に入った頃は先生たちにもすごい愛情があっ
たと思うんです。先生も事務局長の人も、みんな本
に人間らしく生きていたなと思って。いまの偏差
値については、おべんちゃらしている子を見る目もそ
の先生の人間性みたいなものに含まれてくると思うん
です。だから、先生になる人もそういう面で立派な
先生になってほしい。勉強も偏差値や管理のことも
なくて基本は愛情やと思うから。私はそれは精華で偉
なところと思うし、それは絶対忘れてはならないこと
やなと思うんです。私も足掛け二年ですけど、常勤講
師として中学や美術を教えたんです。みんな可愛いん
です。ものすごく愛してくるし、一人一人の子供
には思いとろろな感じがしね。美術やから美しいも
のを美しく感じたり、創造して、「わあ、こんなので
きた」という喜びとかは目を回すような指導なので、
教えていた時のことはよかったです。やっぱり、やっ
ぱり根底にあるのが母親の愛やったり、先生の愛や
あったり、人間としての愛があるから勉強もできるし
だからはじめにおつて死んでいく子たちの根本的なこ
とを見るよ、いろんな意味でまよった愛情を感じ
られなかったら死んでしまつてやないかなと思つた
ります。人間性というのは、私はすごく大事に
してやりたいなと思うんです。

山田 ●僕が最近よく話をするのは、藤井さんが言わ
はった保護者の愛や関連するかなと思うんです。例えば
自分の子供が泣いて帰った時に、まあお母さんとして
子供にどう接してやり手かということですね。ほんな
らお母さんは、「誰に泣かされたの」とか「自分が強
くならんといかん。泣かされたらいいな」とい
う反応がほとんどです。そして「誰か泣かして、何を言わ

とたな抱きかかるとお母さんがおいてになりますか。手
を上げてたか」と言ったら、一人もいてはらへんの
ね。ひょっとしたらその子は、どこかで転んで自分で
泣いて帰ってきたかもわからないんです。でも、そん
な発想を持たれたお母さんは誰もおいてはならないわ
けですわ。人間の中に父性と母性があります。母性
というのは何もあな、パッと抱きかかるとか
瞬間的な愛情であって、「誰に泣かされたの」か、
り返してきかかるとかというのは父性的な発想と
わね。世の中はほんとに父性的な発想が
なっていることも多々とおかんといかんんです。
梶川 ●私は偏差値を高くするとかいうんじゃなくて、
学生個々に愛情や目が行き届き、中学高校で失敗した
子たちにも一回やり直しができるんだよ、自分をそ
のまま認めていいんだと一言やまな場であり続け
るのが精華の生き残りだと思つていまして。

いじめは大人社会の反映

司会 ●私の友人に京都の公立高校の教師があり、「い
じめの年法を改正し刑罰をきつくしていじめた生徒を
監禁に入れてもあかん。いじめられた側がいじめる側
にまわり極端な話、終には学校から生徒がいま
んどよくなる。それほひどい状態なら本
な解決ならん。それよりも阪神大震災のボランティア
活動で見られるように、人に奉仕して感謝される無
償の喜びというのがをきかんと教えていこう」とい
じめの解決の二つのカギがある」と言ふんです。梶原
猛生もいまその心の教育が必要と、人間と自然、人
間同士がどう付き合うかをほつきり知らしめ、真実
の価値、善の価値、美の価値を子供時から教えな
ければならないと説かれておりますが。

島田 ●ただ過度に対処してしまい、些細なことで
も止めてしまうと、自分が逆の立場になつて、されて



いたことをしてはいけないと自分で学やうに
気づけなくなつてしまふのではないですか。去年
小学校の教育委員会を出されても三年生のク
ラスを受け持たせてもらい、男の子が女の子を泣かす
現場を見ました。すぐに止めなきゃいけないし、泣い
ている子に、「どうしたんや」と接しなきゃいけない
んですが、どうしたらその男の子が女の子をいじめな
くなるのかを考えました。で、書道簿に書いて
先生に聞いてみると、その先生は、喧嘩両成敗じゃな
いが喧嘩させることも大事だと言われました。いまだ
にどう対処したら良いかわからないんですけど……
新谷 ●いまのいじめというのは徹底的に排除した
り、相手を殺すところまでやわやわから真的に導
うと思つね。自己肯定感や人間としての二つの存在を認
めさせない。殴らつていけば相手を人間として尊
重してないわけでしょう。相手を人間として見られ
へんというのは、自分も自分という人間の値打ちが見
られへんことの裏返しやと思つね。
浜口 ●子供が自殺する原因は、子供たちのストレス
があまりにも多すぎるからではないでしょうか。実際
うちの子でもお稽古やでか塾とか、学校から帰って
きて遊ばすにどこかに行きたいと目か結構あるんで
す。そうしたら自分でも、ああ、忙しい、ストレス
なまの」と言つたんです。中学になつてもう二つ忙し
いです。勉強とかクラブとか、そのストレスの捌
け口として、弱い者が自立した人とか、昔は勉強で
きた人は尊敬されたんですけども、でも自立
つたんで、そういう子に先が向いたりするよう
なことも聞いたりします。ストレスの捌け口だから、や
りほめてしまつてエスカレートしてとんでもない状
態になつてしまつて思つてはつてね。
佐藤 ●大人の社会の反映といふ気がする。日本で民
主主義とか平等とかいふことを言われるけども、
基本的な人権といふものがどなたも尊重されているのか。

京都精華大学木野会

第3回

数珠つなぎ

だるまささんがころんだ
 ■前号 米田和秀さん からの紹介です。

●精華大学同窓生、職員を交えて、数珠つなぎで紹介して頂いています。

■次号は 82M 光藤 佐さん から



①87P 築山佳民
 ●京都市伏見区在住 ●京彩高等工藝学校勤務
 ●現在もペンペラと油彩の混合技法で具象絵画を描いています。会った事はないけど作品と名前は知ってる。って言われるのが一番うれいです。静かな夜に月の雲が針葉樹の森を染めて交歓している。そんな空気のなかで制作しています。



②87P 提 武士
 ●京都市伏見区在住 ●京彩高等工藝学校教師
 ●教師経験はまだ3ヶ月、今は大変苦労しています。生活と妻のある仕事であると感じています。夏期休暇は、思い存分企画製作に没頭したいと思っています。



③87P 小椋和明
 ●兵庫県豊岡市在住
 ●一年前に仕事を変わったから、目まぐるしく日々が過ぎ、ゼイカでの黄金の年月も遠い過去となりつつあります。今では誰よりも、かわいいうつなげと格闘している毎日です。



④85P 後藤智子 (旧姓 黒川)
 ●神戸市東灘区在住 ●工務店勤務
 ●二神戸での住宅建設は、非現実的ともいえるくらい問題を抱えています。でも、私にとってはそれも勉強と思ひ、学生時代と同じように向上心を忘れずにいようという思いを日々かかしている毎日です。



⑤85D 福田絵麻 (旧姓 藤井)
 ●大阪市大正区在住
 ●画廊勤務
 ●色々な作品に触れられる環境にいます。私自身も何か造り続けていければいいなと思っています。



⑥85D 藤原恵津子 (旧姓 西田)
 ●京都府宇治市在住
 ●皆さん、お元気ですか？私は、退職後は宇治にてフツのオクサンやっています。基本的にはヒマなので、遊んでやって下さい。待ってます。



⑦85J 日浦美穂
 ●奈良県奈良市在住 ●近鉄百貨店勤務
 ●気が付けば卒業して8年が過ぎようとしている。私は今、阿倍野で働いているのだが、気持ちはまだこの前まで学生だった気がして仕方がない。周りの環境は、めくるめく変わっているのだが、一番待てることは、どうして年をとってしまっているのか、人間としての自身は全然成長していないのか、これぞ年をとった証拠なのだろうか？というわけで知らない間に年だけくってしまいました。大阪天王寺、天守閣に来られた際には百貨店にぶらりと立ち寄ってみて下さい。



⑧85J 山中麻由実 (旧姓 山中)
 ●京都市西京区在住 ●父の仕事を手伝っています。四歳児の母になり、育児と仕事に追われています。でも絵本を読んだり子供と絵を描いたり楽しく過ごしています。近いうちに大きな絵を描きたいと思っています。



⑨86T 山岸大晃
 ●京都市左京区在住
 ●只今大修行中です。暑い日が続きますが頑張っています。毎日勉強です。もちろん失敗もあります。それも勉強です。前進あるのみ自分ではそう思っています。



⑩84S 黒田悟一
 ●京都市上京区在住 ●京都市立西賀茂中学校勤務
 ●山が好きで川が好きで雪はもつと好きで北山がポイントと目なる度、夜な夜な花弁や百井の葉へ入ってまいります。そのま雪みぞれの四駆で登校してまいります。何じやこいつ」という眼で見られていますが、どうぶんげません。



⑪84S 和知篤司
 ●北海道釧路市在住 ●陶芸家
 ●北海道に移住して9年が経ちました。今年一月に函館近郊の大野町に窯を築き立しました。近年、開発が進んでしまいましたがまた海も山も自然が無くて、大変満足してはいますが、やはり4年間を過ごした京都が恋しくなることもよく有り、いつか嫁と子供を連れていってやりたいと思う今日この頃です。



⑫82S 高倉哲法
 ●京都市左京区在住 ●自営業
 ●学生時代から、京都の自業、点々と、とうとう北の果て、大原に移り、変わりゆく精華大学を機目に、卒業してから十年の早さと目まぐるしさを、実感しながら多忙な日々を過ごしています。

1 図書館

基本的に在學生と同じサービスが受けられます。

図書館の館外貸出は、メインカウンターで一〇冊以内、分室カウンターで一〇冊以内の合計二〇冊以内で最大四〇冊まで可能です。尚貸出期間は二週間(返却期日が休日の場合は翌日)です。

その他にも新聞(英字新聞・沖縄などの地方誌もある)・CD・ROM・新日新聞のマイクロフィルム、オンライン、データベース(ニッケイ・テレコン・イーエル・ネット、アシスト、ダイアログ)などの利用も出来ます。ただし複写・オンライン等有料のものもあります。詳細は図書情報館カウンターまで問い合わせ下さい。

※図書館開館時間

月・金

9時~18時

土

9時~14時

TEL:七〇二一五一三七

2 AVセンター

こちらも図書館同様基本的に在學生と同じサービスが受けられます。

館外貸出が出来るのは、オーディオテープのみですが、語学(英・仏語など)・七言語、文芸(小説などのテープ)・音楽(新しいものから懐かしいものまで、ジャズ・シ

ヤンソン・民族音楽などもある)と幅広くジャンルをカバーしているようです。ただし貸出期間は一週間、本数も三本までと少ないのが残念!!

その他にもビデオテープ(映画・音楽・ドキュメント)もAVブースで視聴できますし、インターネットにアクセスしたり、簡単なビデオ編集も出来ます。くわしくは、AVセンターのカウンターにご相談下さい。

・開館時間

平日

一〇時三〇分~一八時まで

土

一〇時三〇分~一四時まで

TEL:七〇二一五一四〇

3 伊谷記念朽木学会

一九七五年にオープン山の山の家で、利用した卒業生も多いはず。懐かしい木造校舎で、などと思いついたでしょうか。残念ながら木造校舎は取り壊しになりましたが、その他の環境は全く変わっていません。管理人のおじさん「西川さん」も学会が出来て二〇年来ずっとお世話されています。



西川定市氏

車で行かれた方がよいでしょう。大学付近から一時間半程度で行けます。また周囲は商店等がありま

4 丹後学会

こちらは海の家で京都府丹後半島の最北端にあります。学会の前は日本海で海水浴・釣り等が楽しめます。また、近くには天の橋立・経ヶ岬燈台などの名所、スキー場や温泉などもあります。

○使用について



は、施設課(七〇二一五二二八)へどうぞ。なお、90年以降は業者

営業ですので直営時代の味とお想いの方は、「きむら(旧パーラーキムラ)が木野駅の方から大学の方へ向かって歩いてくる」と昼間営業していますので、行ってみてはいかがでしょうか。

いかがだったでしょうか。紹介しましたものは全て、基本的に在學生と同じサービスがうけられます。ということは取り扱いは在學生と同じです。遠方の方は貸出期間等で使えるかどうか、そのあたりは担当課に直接相談してください。

●ところで、昔からの校舎は?

最近二期計画の話題で新しい校舎の話題が多くて、私たちが使っていた校舎は今どうなっているのか、と考えている方も多いはずというところで開学と同時に出来た、本館・一号館・二号館について、報告します。

6 本館

一階

一階には、図書館部分だったところは事務局(学生課・教務課)事務局部分だったところはラウンジを経て、今では入試広報課が警備室までぶち抜き陣取っています。

7 一号館

一階

L教室と講義室があります。一三教室はタイプライター教室だったので今でも部屋の隅でタイプライターが寝ています。時々今でも突然カチャカチャ音がしてびっくりしますが、今でもま

二階

AVセンターがあります。これは「卒業生の使える施設」に説明したとおりなのでそちらを見て下さい。

8 二号館

今は一階、TD(染織)二、三階に版画があります。ちなみにTDはこの他に6号館・旧4号館の後に建った光彩館も使用しています。

今から二十八年前は、この三つで学生がひしめきあって生活していたのですよね。卒業以来一度も帰ってきていない方々も一度、新しい校舎と昔から在る校舎を見に来ませんか。

CAMPUS REPORT

二期計画も着々と進み、あと図書館、講義棟の完成を待つばかりとなりました。規模が拡大し、とどんどん変貌していく精華大学、少しさみしい気もしますが、昔から卒業生も学園祭など大学行事には参加したり、施設を開放したりということもあり、卒業生も帰ってきやすいという感があったのですが、結構そういうことを知らずにいる卒業生もあるということで、今回、この大学がどれだけ卒業生にも施設を開放しているか、チェックしてみようということになりました。



・使用について

定員…三五人(冬は三二人)
 宿泊…二泊三日まで
 申し込み…使用開始の一ヶ月前
 〇〇日前まで(キャンセルは一〇日前まで)
 使用料…宿泊一〇〇〇円(一泊・日帰り五〇〇円(六才未満は無料)・大学関係者以外は右記の×2倍です。なお関係者の家族は右記料金で利用できます。
 〇交通機関
 京阪出町柳又はJR堅田駅から梅の木から二日に一度針畑バスがでていますが、非常に不便なの

定員…五〇名
 その他は朽木学舎と同じ
 〇交通機関
 JR宮津線峰山または網野駅下車、駅前からバスで間人(たじざ)行(間人より経ヶ岬行にのりかえ)または経ヶ岬行で「上野」下車。なお、夏季はJR京都駅八条口から、丹海バスが出ています。京都から車で、四時間で衍けま

す。
 こちらは近所にスーパーなどがあります。
 〇所在地
 京都府竹野郡丹後町上野
 朽木・丹後の両学舎の使用の問い合わせは学生課へどうぞ。
 TEL…七〇二一五二一〇

5 食堂・ラウンジ

大学の坂をのぼるとそこには小さな食堂が、あったのですが、そこはたまたま駐輪場。九五年より、流溪館の西側に大きな厚生棟が完成(悠々館、一階に食堂、二階にラウンジ、購買部(画塾堂)があります。
 食堂では和洋中のメニューが、ラウンジではトースト・サンドイッチ、飲み物を中心に、安価で食事が出来ます。またラウンジでは製パンも行われ、焼きたてのパンが食べられます。
 また、時間さえ合えば、パーティー等も出来るそうです。詳しく

あの部分で事務を行っていたというのには信じられないと最近の学生は、逆に開学当所の卒業生にとつてはこんなぜいたくなスペースの取り方と別の意味で信じられないという声がかきこえてきそうです。ちなみに、図書館は七二年以降、明窓館へ(当時新館と呼ばれていたところ)、警備室は、一星館(旧食堂横)へ移っています。

二階
 この大学は、学校法人が京都精華学園から京都木野学園に変わったということで二階は法人の事務局のスペースになりました。かつては三階と同じく研究室棟だったそうで、すっかり変わってしまいました。

三階
 二階と同じように研究室が並んでいた三階も今では会議室・コン



●幡枝コートとうとう取り懐し!!
 先日、たまたま幡枝コートの前を通ってビックリ!!
 なんとフェンス・ポール・ネット等がなくなつてサラ地になっていました。聞けば宅地になるそうです。

長い間、荒れていたこのコートを見てさびしい気がしていましたが、失くなると一段とショックです。
 ちなみに昨年新テニスコートがグラウンドの上に出れました。また時代がひとつつてのは大げさかな…。

もう産まれる!!

10 1

●96年10月、精華大学で初めてオリジナルグッズが誕生!!
 詳しくはインフォメーションをご覧下さい。

Teachers Voice



健康一番

麻田脩一

この四、五年急に体重が増え今迄の服が全部合わなくなった。健康チェックも御多分にもれず心臓をはじめ肝臓に尿酸、中性脂肪コレステロール、糖尿など軒並みに引っぱり医者に云わすとこれも全て肥満のせいらしい。何とかしなくてはと思ってた矢先、TVで淡路島に断食による体質改善を行っている健康道場というのが紹介されたままそれを見た。丁度春休み中だったので番組終了後直ちに電話してみたたら丁度翌日なら空いているとの話で、思い立ったが吉日とばかりにさっそく行く事にした。普通は二週間コースだが初めての事でもあり、とりあえず初心者向けの一週間体験入所というのに申込み、あたふたと身の回りのものを靴につめ込み、不安と期待の入りまじった複雑な気持ちで一路淡路島に向った。

無事バスさっそく断食に入る。一週間コースでは完全断食は三日間で、後の四日は三分粥からはじまり徐々に普通食までもとず復食期にとつてある。断食期は一日三回ミルクの様な特製ジュースをコップに一杯だけ。食堂にはすでに復食期に入った人達が食事をとっている。おいしそうな匂が漂ってくるのを横目で見ながら、一息で飲めばホンの数秒しかかからない一杯のジュースを時間をかけ啜めるようにチビリチビリ飲む。断食だから当然なのだが何とも味気ないものだ。道場内では勿論禁酒禁煙。断食初夜はさすがに空腹感と断アルコール症状で寝られず実に長い長い夜でありました。二日目からは朝の体操で一日がはじまり丹田呼吸法という腹式呼吸による瞑想、肥満はストレスから来るものでその為には自分自身を良く知るための性格分析、心と身体は切っても切れない関係にあるという心身医学、また成人病や栄養学などの講義がギッシリとつまり空腹感もまぎれそんなに苦しくなくなってきた。三日目になると身も心も軽くなったように気分も爽快、生命の充



「面白い」大学

人文学部教授 中島勝住

昨年、在外研究の機会を得てメルボルンに一年間滞在した。受け入れ先はラトロップ大学だったが、ここはかつて、日高六郎先生がオーストラリア入国を拒否された際、その招聘の中心であった杉本良夫教授らが、連邦政府に対し、粘り強く抗議運動をしたことでも知られている。また、昨年からは、人文学部のフィールドワークがここをベースとして行われており、何かと京都精華大学とは因縁深い大学でもある。大学の中心はメルボルンの北郊

実感を覚え、感覚も鋭敏になり見馴れた景色も一段と新鮮に感じるようになったのは自分でも不思議に思える。

わずか一週間だったので退所時は体重は三kg位しか減らなかつたが、その後節制につとめ十四kg余りスリムになり、その上健康チェックも全て正常となり、大分ガタが来ていた体も断食をやったお陰でオーバホール出来ました。海外研究員としてこの九月末より半年間アメリカに行きますが体には自信もつき喜んでいます。では元気で行って参ります。

外バンドウーラキャンパスで、広さは約二〇〇haという広大さだ。学部構成は、従来一〇学部体制であったものが、一九九四年に社会学、健康科学、人文学、科学工学の四学部にて再編成された。いずこも大学改革はやりではある。現在、そこに大学院を含めて二万人強の学生が学んでいる。その中で留学生は八〇〇人強だが、オーストラリアの大学でこの数字は、決して多い方ではない。しかし、キャンパス内では、さすがに多文化主義の国らしく、実に様々な人種の学生が行きかう。私たちの存在にも全く「無頓着」のようで、ほとんど緊張を強いられることなく、らくらくに居ることが出来る。視線を感じることはないのだ。

オーストラリアの大学には、日本にあるような入学試験というものがない。高校を卒業する際に、大学入学の資格となる各科の試験を受ける。メルボルンのあるヴィクトリア州ではVCEと呼ばれ、自分のVCEの成績を大学の専攻別に付けられた点数と比較検討し、自分が行ける大学を選択する。当然、点数の高い低いはあるのだが、そのことによる学生の優劣等感はありません。その理由の一



フィリッパ湾から見たメルボルン市街

つに、就職試験時に、どの大学を出たかではなく、何を学んだかが最優先されるということがある。人の能力と、出た大学との因果関係はほとんどないという「常識」は、間違いない日本よりも定着している。

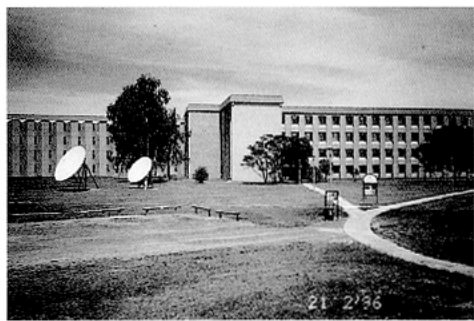
このことと関連があるのだろうが、学生たちは授業に対して極めてまじめで、積極的である。もちろんそれにも増して、教師の授業にかける精力もまた、日本とは随分違うのも確かだ。大学に求めるものがはっきりしている学生がいて、「サービス」に徹する教師がいる。面白くないはずがない。そうになると、教師が要求する水準も高い。だから、おおむね学生たちの一週間の授業時数は少ない。つまり、学生も教師も、一つの授業にかける時間が対照的に多くなるといふことだ。私たちも、登録の制

限と単位数の引き下げを考慮する必要があるのであるかも知れない。

もちろん、いいことばかりではないし、問題も多い。しかし、ラトロープ大学で実感したことは、このいいところが案外と京都精華大学に共通するという点である。

特に、学生の積極性と、学歴・学校歴社会からの解放のされ具合がある。来た人が入ることのできる仕掛、なかなか難しいのだが、今のところうまくいっているのかも知れない。しかし、これからは日豪の社会構造上の違いに帰結されないような、偶然性に頼らないシステムを開発し、さらに洗練させていくことが「面白い」大学にとって是不可欠になるのは間違いない。このことが、必然的に「生き残り」に直結するのも自明のことである。

ラトロープ大学社会科学学部



俺はガキ大将

村上泰造

俺は播州姫路の海辺に生まれ育った。家の裏は海拔二〇メートルから百メートルぐらいの小山が並びすぐ横には巾三〇メートル程の川が流れていて引き潮に乗って泳いで行けば歩くより早く一〇分程で海に出られた。塩田づたいに歩いて行っても十五分はかからなかった。南に向かい右手は二キロメートル程砂浜が続き海水浴場もあった。左手には小赤壁といって景色の良い岩場があり俺達の格好の遊び場だった。砂浜の海では二枚貝の蛤やバカ貝、マテ貝等が取れ、カレイやキス、コチ等が釣れた。岩場の海は巻き貝のズベツタやニシが取れチヌやメバル、ベラ等が釣れタコも取れた。一月は岩のり取り、二月はナマコ取り、三月は池の土手づくし取り、四月は山でわらび取り、五月は潮干狩り、六月は田んぼの水路で田ブナ取り、七月はウナギ釣り、八月は素潜りやヤスで魚や蛸を突いた。九月は池ざらいで鯉やどじょうを取り、十月はきのこ狩り、十一月は山芋掘りをし、十二月はボラ釣りをして遊んだ。

第二次世界大戦が終わって二年後、俺はたしか小学校四年生の頃だった。その頃は中学三年生を頭

以下は幼稚園までで子供社会を作っていた。その中学三年生がガキ大将だった。ある夏の日数人が海へ行った。俺はガキ大将に命令され海底の岩穴に住む蛸をヤスを持って潜り取りに行った。四〇五メートルの海底を三時間余り捜し廻りやっと一匹掴まえてガキ大将の所へ持って行った。たき火をして待っていた彼はそれを焼き、腹の減った俺に足一本だけお裾分けしてくれ後は巻き上げようまそうに喰いながら「半日潜ってたった蛸一匹しかよう取らんのか。」といばりちらした。俺は悔しくてたまらなかつた。そこで俺も大きくなったら絶対ガキ大将になってやろう。と心に誓った。それ以後ガキ大将への修業が始まった。だれよりも良く飛び紙鉄砲や石鉄砲を作り、より多く釣れる魚釣り道具を作り、蟬や甲虫は人一倍掴まえ、コマはうまく廻しメンコの技に勝れ竹馬はより高いのに乗りより早く走れるよう練習を重ねた。そして何よりも大事なものは体を鍛えて根性を付け喧嘩が強くなる事だ。中学三年の頃には努力が実り立派なガキ大将になった。それ以来高校になってもより強く、よりうまく、より早く、より大きくをもつとくに



色々な事に励んだ。そして大学生活でも彫刻に、ラグビー、バウトにバチンコ、マジック、演劇、山登、サイクリング、キャンプと多様にこなし、「こんな事ようせんのか。」といばった。精華大学に勤めるようになってラグビー部を作り、又立体造形を創設し授業では学生に、海や山に出かけて行ったり、アウトドア用品の作り方や使い方を伝え、さざえやあわびの取り方を教えながら、「こんな事ようせんのか。」といばっている。くやしかったら俺を追い越せ……。でもガキ大将は決して弱い者いじめはしなかつた。今から思えばガキ大将と自然が教えてくれた事が精神的にも肉体的にも技術的にも今の造形の仕事の基礎になっている様に思われる。俺は良い環境と良き時代に生まれ育ったものだと思感謝しながらこれからもずっとガキ大将でいたいものだと思っている。

がんばれ自由自治大学



'68年「京都精華短期大学」と称し、
美術科、英語英文科1期生203名と共に産声をあげ
再来年開学30周年を迎える。

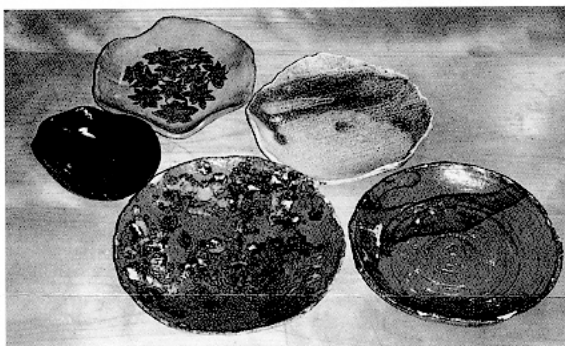
大学、大学院等様々な分野が増設され15倍もの在学者数になった今、
開学の精神がどう変化してきたのか、
振り返り問い直すときではないでしょうか。

■学生数の変遷

	短大 美術科	美術学部	大学院 美術研究科	短大 専攻科	短大 英語英文科	人文学部	大学院 人文学研究科	合計
1968年	107				96			203
1969年	273				216			489
1970年	338			38	300			676
1971年	782			26	394			1202
1972年	389			26	416			831
1973年	427			48	470			945
1974年	523			42	627			1192
1975年	524			92	755			1371
1976年	599			81	796			1476
1977年	603			99	761			1463
1978年	570			87	759			1416
1979年	316	319		46	754			1435
1980年	2	639		28	750			1419
1981年	1	685		10	718			1414
1982年		746		14	697			1457
1983年		773		6	732			1511
1984年		763		11	728			1502
1985年		787		8	646			1441
1986年		797		8	649			1454
1987年		856		2	679			1537
1988年		972		6	721			1699
1989年		1065		6	379	362		1812
1990年		1156			1	584		1741
1991年		1222	15			896		2133
1992年		1166	38			1191		2395
1993年		1361	42			1293	10	2706
1994年		1408	42			1507	16	2973
1995年		1463	47			1552	17	3079
1996年		1516	46			1624	22	3208

卒業生の..... This is my space. ▶ 仕事場探訪

紫明陶芸教室

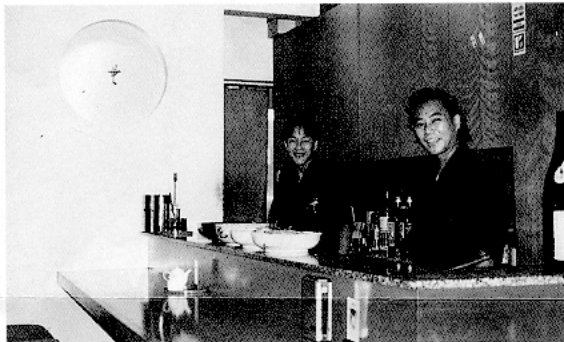


ここで梁川氏のもう一つの顔を紹介しよう。「蕪」の店で使われている器は自ら土を練り、焼き上げた作品である。聞くところから陶芸教室も開かれている。

料理人である以上器を演出することは必至である。季節に応じて色々な器を集めるうち梁川氏の本来の作り出すという気持ちから膨らみ器の創作を始め、教室を開くまでに至ったそうです。教室を始めるに当たっては滋賀県信楽で陶人形などの創作活動をされている石野千尋さん(71D 旧・加藤眞理子)の助言や協力が多くあったようです。

教室というスタイルをとっているが「もっと自由に作品を作りたい、しかし場所がない。」という情熱あふれる人がここを使って少しでも世に出て行く作家になる手助けが出来たらいいと思っている。京都の清水のような格式を重んじるものではなく、もっと自由に自己の表現を引き出せるような場にしたいようだ。特に母校への思いも深く、後輩達がこの仕事場から育っていったら、より一層嬉しいことになるだろうと付け加えられた。「ダイニングバー 蕪」紫明陶芸教室を通して人と人とのコミュニケーションの輪を広げることが梁川氏の真髄でもあろう。

ダイニングバー 蕪 Bu



叡山電鉄茶山駅にほど近い閑静な住宅地の一角に、ちょっとオシャレな『ダイニングバー 蕪 (Bu)』がある。店主は美術学部染織科72年度生の梁川慶雲氏である。当初家業の染めの仕事を手伝っていたが、32歳の時、心機一転それまで興味をもっていた飲食店を木屋町にて始め'86年9月、現在の店をオープンした。炉端焼や居酒屋という店が主流であった頃に「ダイニングバー」というネーミングで女性やカップルをターゲットにしたオシャレな店をコンセプトに始められた。店内は和と洋をうまくコーディネートされたゆっくりと寛げる空間が演出されている。メニューは、チーズ・きのこ・明太子等の18種類ものバリエーションのオムレツを中心に多種多様な料理が、店主自ら創作した器に盛り付けられて出される。日替わりメニューもあり、旬のものを取り入れたオリジナルの料理も客の好みに合わせてその場でアレンジしていただける。予算に応じて、おまかせ料理(7品~9品)もあり、20人からの貸切りもOKである。その料理の豊富さから口コミで来店する客も多く連日店内にはぎわいをみせている。

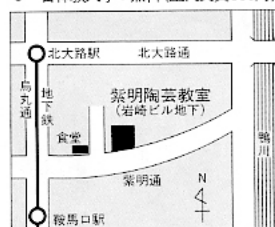
ちょっとオシャレな雰囲気気軽に味わいながら、グラスを傾けてみてはいかがですか。

急募

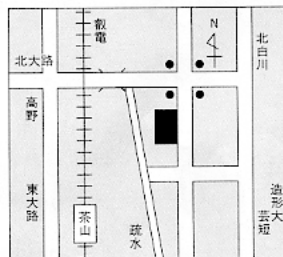
陶芸・造形大好き人間求む!
紫明陶芸教室を手伝いながら創作活動をしてみませんか?
道具の使い方や手順などを生徒さんに指導する手伝いがある、陶芸の経験者を探しています。また、夜間造形活動のスペースを低価格で借りたい方の相談にも応じます。詳細は直接梁川氏にお問い合わせください。

紫明陶芸教室 ☎075-432-9590

京都市北区小山西池田町13
岩崎ビル地下(紫明通烏丸東入ル50m)
TEL. 075-432-9590
●週1回(2時間30分)×4回
●月謝: 10,000円(土代別、1kg500円)
●平日: 10:00~12:30、14:00~16:30
土・日: 10:00~12:30、月・祝休校
●入会金: 5,000円 随時受付中
●一日体験入学: 無料(土代実費500円)



京都市左京区一乗寺
染敷町7
TEL. 075-721-3124
●営業時間
平日 18:00~0:00
土日祝 17:00~0:00
毎月第3火曜日休み



Who's Who

西日本支部設立同窓会



京都精華大学に籍を置いたきっかけは？

*美術の勉強がしたかった。

*学風に惚れて

*自由に憧れて

*こころがな〜いと思った。

*高校のすすめ

*関西で入り易そうな美大は精華だった。

*先輩がいたので

*学校見学の時、京都バスの中にいた

*カッコー人が精華の坂をあがっていた。

*新しくユークな学校

*京都・男女共学に憧れた。

西日本支部設立同窓会に参加された感想は？

*いろいろな年代の同窓生に会えてよかった。

*なつかしい先生方、思い出話、楽しい一時でした。

*同期生に会えずでしたが

*話が弾むと友達の友達って感じてよかったです。

*近くであつてよかった。



*何となく楽しかった。
*人との出逢い、交わりを楽しみにしてた
*思っていたより楽しかった。
*先輩がいっぱいいると実感した。

*GOOD!

*余興なくてもよかったかな?

*本当に初対面?信じられない!

*是非是非続けましょう。

同窓会木野会への意見 提案。

*強いネットワーク作り。

*自分の足跡として協力して行きたい。

*有益なものの発見の手助け。

*広島でもしてほしい。

*同期会も企画してほしい。

*他地域の卒業生の活躍等の情報。

京都精華大学西日本支部発動

平成8年9月23日、岡山県倉敷アイ
ビースクエアに於いて「西日本支部設
立同窓会」が開かれました。昨年より
支部の発足を願っていた有志が核とな
り、この日を迎えるに至りました。

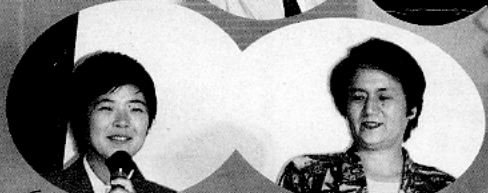
午後1時、津下勝年氏(74D)の西日
本支部設立報告で始まり、笠原芳光理
事長挨拶、赤坂博会長(68P)の乾杯で
開会された。当日、大学からも多数の
先生方が駆けつけて下さり、あちらこ
ちらで思い出話や現在の大学の様子等
話が盛り上がりました。また会場の一
角では、創作活動をしている人達のミ
ニギャラリーが設けられ、壇上では津
軽三味線の演奏や立岡洋子氏(72E)ら
によるフラメンコ舞踏等が披露されま
した。

これを機に西日本支部が大学と地域
の同窓生とのキーステーションとなる
ことを願っています。

同窓会に先がけて9月23日午前、西
日本支部設立総会が開かれて下記役員
が決定しました。

- | | | |
|-----|------|----------|
| 支部長 | 74 D | 津下勝年(岡山) |
| 会計 | 68 E | 万代孝子(岡山) |
| | 68 P | 渡辺直美(岡山) |
| | 68 E | 沖 和子(山口) |
| | 69 D | 富 明雄(香川) |
| | 72 E | 立岡洋子(岡山) |
| | 73 D | 岡本早苗(岡山) |
| | 73 T | 中田祐子(岡山) |
| | 74 E | 高橋隆恵(岡山) |
| | 76 E | 安藤引子(岡山) |
| | 90 T | 福田統夫(岡山) |

倉敷での同窓会準備をお手伝い頂いた
方が中心になりましたので、岡山県在住者
が多くりましたが、今後西日本全域にネ
ットワークを拡げてまいりますので協力
していただける方を募集しております。



懸賞作品募集

「表紙デザイン・文中カット大募集」

木野会会報紙では、表紙デザイン・文中カットを広く募集しています。表紙全面を、思い切りあなたの絵・デザインで飾ってください。また文中で使えるカット画もお気軽に寄せてください。会報誌名称については、校章も校歌も無い自由自治の精華の同窓会会報に、あえて、名称を決定しておりません。表紙・カットと共によい名称をご応募ください。

●賞金・賞品

表紙デザイン1点…3万円

文中 使用カット1点に付…テレホンカード

●応募方法

表紙サイズ：縦25.7cm×横18.2cm

技法：イラスト画、写真、版画など自由。ただし色は一色刷です。

カット画：自由に描いてください。

作品の裏には必ず作品のタイトル・コメント・住所・指名・学籍番号・電話番号を記入してください。

●締め切り 平成9年4月末日必着

●宛て先

〒606 京都市左京区岩倉木野町137

京都精華大学同窓会木野会

「会報 表紙デザイン」係

表紙製作者

山元 巖 (83P)

精華大を卒業して10年になりましたが、今回の作品を作っている間に学生の頃のキャンパスを思い出しながら楽しい気分で作る事が出来ました。あの頃に比べれば、今は随分と校舎も増え大きくなっている様ですね。できればこれを機会に、木野祭に足を運んでみようかと思っています。

頂いた賞金は、12月中頃に予定しているグループ展(京都三条、Gはねうさぎ)の制作費に使わせていただきます。

木野会から

「木野会報は会員のみ配布」

精華大学同窓会会報誌は、会員のみ配布されています。

木野会の運営・会報誌の充実を計るため、一人でも多くの方が木野会に参加されることを望んでいます。この会報誌の届いていない未入会のお友達は是非お誘い下さい。

●入会方法

郵便局備付けの振込み代金先方払い(赤枠)の用紙に学籍番号(入学年度・学部・学科)、住所、氏名(旧姓)電話番号を記

入の上、終身会費1万円をお振込みください。

口座番号：京都 0・42332

金額：10,000円

京都精華大学同窓会木野会 宛

「ご投稿のお願い」

○木野会会報にふさわしい新コーナーのアイデアを募集しています。

○「Who's Who」のコーナーへの投稿・取材依頼、お待ちしております。

○展覧会、個展、イベント等の広報コーナー充実の為情報をお寄せ下さい。

○「This is my space」コーナーにお店や教室等広告を希望される方は御一報下さい。

「お願い」

卒業生宛の郵便物が転居、住所表示変更などのため返送されてくる場合がかなりあり、多くの卒業生が消息不明のままになっていきます。お友達の中で「木野通信」や木野会に入会しているのに「会報」等が届いていないという方がおられるようでしたら、必ず同窓会「木野会」事務局まで、その方の氏名(学籍番号)と変更された住所をご一報ください。また、お問い合わせ等がございましたら、ご遠慮なく「木野会」事務局までご連絡ください。

総会のご案内

「第9回 木野会総会」

とき：1996年11月3日(日祝)

午後2時～

ところ：京都精華大学・本館3F

懇親会：午後3時～5時

9月23日に西日本支部が動き始め同窓会「木野会」としては喜ばしい運びとなりました。来年、第10回を向かえるにあたって皆様のご意見やお考えをお聞かせ願ひ、一層のネットワーク作りを広げてゆきたいと思っています。是非ご参加ください。

大学では例年どうり「木野祭」開催中であり、懇親会後は学生達のフリーマーケットに入り込むのも楽しみです。

お友達と一緒に秋の木野、叡電精華大学前で降りてみて下さい。

お知らせ

「SYNAPSE LINKS 実験展」

建築・文学・映像・絵画・彫刻・工芸(陶芸、木工、ガラス等)・デザイン(服飾デザインも含む)・写真・書道など多分野の作家100名が、10号の大きさの壁面作品で文字通り実験的な作品に挑む。精華大学新旧卒業生も数名出品予定です。是非

御高覧ください。

とき：(97年)1月28日～2月9日
(月曜日休廊)

ところ：画廊ぶらんしゅ

池田市天神1-5-16

☎0727-61-2626

SEIKA'S GOODS誕生

衣料、文具、雑貨等、生活グッズを取揃えました。学内では画堂堂(購買部)で販売され、通販も行ないます。

●問い合わせ先

㈱エレファント内「SEIKA'S GOODS」

販売係 担当：平井秀孝(79E)

住所 〒602 京都市上京区

堀川紫明下ル634

TEL 075(451)7511

FAX 075(451)7512



訃報

洋画家 二紀会評議員

金田 辰弘 京都精華大学名誉教授

9月7日午後零時35分、

肺炎のため御逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り

申し上げます。



編集後記

皆様お変わりなくお元気でしょうか。今回は教育問題に取り組み、少しかたいページから始まりましたが、今こそ真の教育が問われている時だと痛感致しました。皆様からのご意見を心からお待ちしています。またこの度発足致しました西日本支部への応援も期待しております。

●京都精華大学同窓会 木野会

〒606

京都市左京区岩倉木野町137

TEL.(075)702-5201

FAX.(075)722-0838